

## 愛知芸術文化センター・大ホール(全指定席)～オペラの殿堂で最先端の複合舞台に出会う！

### ローザス製作 アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル+ジェローム・ベル+アンサンブル・イクトゥス

#### 『3Abschied ドライアップシート(3つの別れ)』 **日本初演**

コンセプト:アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル、ジェローム・ベル 出演:アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル、アンサンブル・イクトゥス(音楽)ほか

10月30日[土]17:00 31日[日]14:00

【前売】S席:6,000円 A席:5,000円 B席:4,000円 学生(A席・前売):2,000円 S席ペア券(前売):11,000円

\*当日券はすべて500円アップ(学生券・ペア券の当日券はございません。)

Pコード:404-304 Lコード:43457

ローザスの振付家アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルとフランス出身の振付家ジェローム・ベルの出会いから創作された新作『3Abschied』。マーラーの『大地の歌』(シェーンベルク編曲)をベースに、現代音楽アンサンブルのイクトゥスが演奏し、女性独唱が重ねられていく。ダンサー、オペラ歌手、ミュージシャンが舞台上で拮抗するケースマイケルの新境地は、トリエンナーレのフィナーレを飾るに相応しい舞台芸術の最先端を体感させてくれる。

■アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル/「ローザス」芸術監督、ブリュッセルを拠点に、80年代以降のダンス・シーンを世界的にリード。04年細川俊夫作曲、大野和土指揮によるオペラ『班女』の演出を手がけた。  
■ジェローム・ベル/1964年南仏生まれ、身体表現に説明的な言葉を通じたコンセプト的振付家。  
■アンサンブル・イクトゥス/世界を代表するベルギーの現代音楽アンサンブルのひとつ。テーマ性の強い演奏会を行うことが多く、ステューブ・ライヒなど、数多くの現代作曲家の作品を演奏している。

助成:財団法人地域創造

平成22年度文化庁国際芸術交流支援事業



©Herman Sorgeloos

## 愛知芸術文化センター・小ホール(全自由席)～毎週末に展開される実験劇場でのパフォーマンス！

### 平田オリザ+石黒浩研究室(大阪大学)

#### ロボット版『森の奥』 **世界初演**

脚本・演出:平田オリザ テクニカルアドバイザー:石黒浩(大阪大学)

ロボット側監督:黒木一成(株)イーガー)

8月21日[土]19:00 22日[日]14:00

23日[月]19:00 24日[火]19:00

公演終了後、アフタートークを開催予定

前売:3,000円 当日:3,500円 学生(前売):2,000円

Pコード:404-296 Lコード:43450

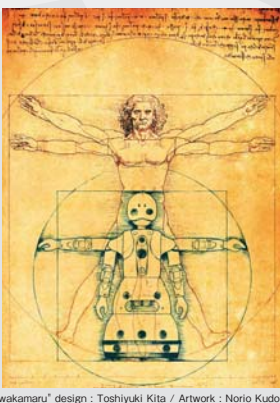
#### Oriza Hirata + Ishiguro Laboratory(Osaka University) Robot-Human Theater "In the Heart of a Forest" **World Premiere**

Aug.21(Sat.) to 24(Tue.)

Oriza Hirata, the most important playwright, and Hiroshi Ishiguro, a world's leading robot researcher, create a new "Robot-Human Theater," that has world premiere to celebrate the opening of Aichi Triennale 2010.

■平田オリザ/1962年生まれ。劇作家、演出家、劇団「青年団」主宰、大阪大学教授、内閣官房参事。1990年代に「現代口語演劇理論」を提唱し、以降多くの演劇人に影響を与える。2000年代はフランスを筆頭にヨーロッパ、アジア各国に活動の場を広げている。

■石黒浩/1963年生まれ。大阪大学教授、ATRフェロー。社会で活動できる知能ロボット研究の世界的第一人者。これまでに、自身のコピーロボットである「ジェミニイD」ほか多数のロボットを開発している。



©Robot "wakamanu" design: Toshiyuki Kita / Artwork: Norio Kudo

演劇界の旗手・平田オリザと、ロボット研究の第一人者・石黒浩が大阪大学で進めている「ロボット演劇プロジェクト」の初の劇場公開作品。中央アフリカ・コンゴに息を吐く類人猿「ボノボ」をロボットと人間が共に飼育する研究室を舞台に、近未来に訪れるであろうロボットと人間の関わり合いを表現し、「人間とは」を鋭く問う。ロボットに「感心」するのではなく「感動」する、先例のない演劇の記念すべき世界初演。

### デルガド・フッシュ

#### 『桃色のズボンと赤いヌバックの先の尖ったハイヒールをはいて、襟ぐりが緩んだセーターの上に着た空色のウールのロングコート』 **日本初演**

構成・振付:デルガド・フッシュ

9月3日[金]19:00 4日[土]14:00/19:30

前売:3,000円 当日:3,500円 学生(前売):2,000円

Pコード:404-297 Lコード:43451

Delgado Fuchs

"Long sky-blue woolen coat, worn with a large roll-neck jumper, peach leather trousers and red nubuck pointed high-heel shoes" **Japan Premiere**

Sep.3(Fri.) and 4(Sat.)

Delgado Fuchs, a duo from Spain and Switzerland, makes their first appearance in Japan.

Their tough and highly-trained bodies are nicely balanced with witty movements.

鍛えられた強靱な肉体から生み出されるダンスとエスプリの効いた振付で絶妙なパフォーマンスを見せるデュオグループ。ダンステキストには収まらないユニークなパフォーマンスは、従来のダンスの概念を飛び越え、観客に身体や動きの再定義を投げ掛ける。今回は2007年初演のデルガド・フッシュの代表作をもって日本初来日。



©Sophie Baltner

2002年にスペイン出身のマルコ・デルガドとスイス出身のナティーン・フッシュによって結成される。ブリュッセル王立音楽院やストリップクラブでキャリアを積んだマルコ・デルガドと、チューリッヒやベジャール・パリエ・ローザスでダンスを学んだナティーン・フッシュの恵まれた身体を生かしたパフォーマンスを中心に、インスタレーションや映像など、様々な手法で作品を提示している。

### 梅田宏明

#### 『Adapting for Distortion **日本初演** / Haptic』

振付・ダンス:梅田宏明

9月11日[土]19:00 12日[日]14:00

公演終了後、アフタートークを開催予定

前売:3,000円 当日:3,500円 学生(前売):2,000円

Pコード:404-298 Lコード:43452

自身の作品では振付・ダンスのみならず映像・音・照明デザインまで担う梅田宏明。錯覚をテーマにした『Adapting for Distortion』は日本初演。色に焦点をあてた『Haptic』は、光を目に触れる物質として扱ったというパフォーマンス。また、同テーマで美術的な側面からアプローチを試みたインスタレーションを納屋橋会場のボウリング場跡地において発表する。



『Haptic2』 ©Shin Yamagata

平成22年度文化庁国際芸術交流支援事業

Hiroaki Umeda

"Adapting for Distortion **Japan Premiere** / Haptic"

Sep.11(Sat.) and 12(Sun.)

Hiroaki Umeda, who is recognized more as a visual artist rather than a choreographer, a mover rather than a dancer, will make an impressive appearance in Aichi.

### Anne Teresa De Keersmaeker + Jérôme Bel + Ictus "3Abschied" **Japan Premiere**

Oct.30(Sat.) and 31(Sun.)

A cutting-edge performance based on Gustav Mahler's "the Song of the Earth" is created by Rosas' choreographer, a French conceptual artist, and a contemporary music ensemble. "3Abschied" will mark the grand finale of Aichi Triennale 2010.

### ヤン・ファープル

#### 『Another Sleepy Dusty Delta Day』

#### ～またもけだるい灰色のデルタデー～

監督・脚本:ヤン・ファープル

振付:ヤン・ファープル、イヴァナ・ヨザク

9月18日[土]19:00 19日[日]14:00 20日[月・祝]14:00

前売:5,000円 当日:5,500円 学生(前売):3,000円

Pコード:404-300 Lコード:43453

#### Jan Fabre "Another Sleepy Dusty Delta Day" **Japan Premiere**

Sep.18(Sat.) to 20(Mon. National Holiday)

A cruel yet beautiful story of love and death directed by Jan Fabre, a world noted artist/director/choreographer.

It was premiered and praised at Festival d'Avignon 2008.

2008年アヴィニオン演劇祭で発表され、絶賛された女性ソロ・ダンス。精巧な鉄道模型が走り回る線路の中央に堆き詰められた石炭、籠に閉じ込められた黄色いカナリアが象徴するのは死に向かって進み続ける女性の運命。激しく挑発的な作品が多いヤン・ファープルにとっては異例ともいえる、ナイーブで美しい、そして残酷なこのダンスは、最愛の母と愛する妻へのオマージュとなっている。



©Christophe Reynaud de Lago

助成:財団法人地域創造

平成22年度文化庁国際芸術交流支援事業

### チェルフィツチュ

#### 『わたしたちは無傷な別人である』 **世界初演**

作・演出:岡田利規

9月24日[金]19:00 25日[土]14:00/19:00

26日[日]14:00

公演終了後、アフタートークを開催予定

前売:3,000円 当日:3,500円 学生(前売):2,000円

Pコード:404-301 Lコード:43454

#### chelfitsch "We Are the Undamaged Others" **World Premiere**

Sep.24(Fri.) to 26(Sun.)

chelfitsch is a company leading the next Japanese theatrical generation. With playwright / director, Toshiki Okada, chelfitsch finally completes its latest work at Aichi Triennale 2010.

助成:芸術文化振興基金

©Nobutaka Sato

岡田利規が全作品の脚本と演出を担当する演劇ユニットとして1997年に設立。チェルフィツチュ(chelfitsch)とは、自分本位という意味の英単語セルフッシュ(selfish)が、明晰に発音されぬまま幼児語化した造語。07年KUNSTENFESTIVALDESARTS2007(ベルギー)にて『三月の五日間』(第49回田園土戯曲賞受賞作品)が初めての国外進出を果たす。その後も、09年10月HAU劇場(ベルリン)との共同製作で『ホットペーパー・クレーラー』そしてお別れの挨拶を世界プレミア上演するなど、現在ではアジア、欧州、北米にて海外招聘多数。http://chelfitsch.net



『わたしたちは無傷な別人である』 ©Nobutaka Sato

### ニブロール

#### 『THIS IS WEATHER NEWS』 **世界初演**

ニブロール:矢内原美邦、高橋啓祐、矢内原充志、スカンク、伊藤剛

10月22日[金]19:00 23日[土]14:00/19:00

24日[日]14:00

公演終了後、アフタートークを開催予定

前売:3,000円 当日:3,500円 学生(前売):2,000円

Pコード:404-302 Lコード:43455

#### Nibroll "THIS IS WEATHER NEWS" **World Premiere**

Oct.22(Fri.) to 24(Sun.)

Nibroll is a multi-media art collective based in Tokyo. Their performance is never labeled with one art form.

"THIS IS WEATHER NEWS" is a new production for Aichi Triennale 2010.

助成:芸術文化振興基金

例えば、平均寿命、地球温暖化、時刻表。

～これらは全て「天気予報」みたいなもの。

「こうしたら、ああなるだろう」と予定調和を前提にして生きる現代において、現代批判でもなく、回顧主義でもなく、信じてきた価値観が崩壊したと言われても生き続けなければならない私たちのこれからを提示していくことを目指した作品。既存の枠に捕らわれず新たな「アート」としての表現を追求してきた「ニブロール」が次なる10年を見据え、セクショナルリズムを廃し、もう一度フラットな関係から世界へ向けて最新作を発表する。



『ロミオORジュリエット』 ©Kenji Iida

1983年にローザスを結成した4名のダンサーと音楽家ティエリー・ドゥ・メイなどで創作されたローザスのデビュー作。ローザスはこの作品で一気にダンス界の寵児となった。94年の日本公演では日本にコンテンポラリーダンスブームを引き起こすきっかけを作る。現在でも人気の高いこの作品は、2009年にケースマイケルが踊る『ローザス・ダンス・ローザス』として再振付され、約10年ぶりにレパートリーに復活した。



©Herman Sorgeloos

平成22年度文化庁国際芸術交流支援事業

#### Rosas "Rosas danst Rosas" **Exclusive Performance in Japan**

Oct. (Tue.) to 28(Thu.)

Rosas is a dance ensemble leading world's dance scene. "Rosas danst Rosas" is a Rosas' sensational debut piece, which fueled a boom of contemporary dance in Japan.

1983年結成。振付家のアンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルが芸術監督を務めるベルギーを代表するダンスカンパニー、ベルギー王立モネ劇場専属カンパニーの経験を持ち、フランドル文化大使も務めるベルギーを名実ともにリードするダンス・カンパニー、ローザスは常に音楽的構造と身体構造の関係を探求しつつ、意欲的に作品の発表を続けており、その作品は、パリ・オペラ座やニューヨーク・リンカーンセンターを始め世界各国で上演され絶賛を浴びている。